

本校は平成 24 年度から自己点検・自己評価にとりくんできました。平成 26 年度の評価結果をうけ、課題の改善と本校に即した評価の視点への見直しを行ってきました。評価内容はⅠからⅨのカテゴリーに分類し、138 の視点で評価しました。評価基準は従来通り「当てはまる(3 点)」「やや当てはまる(2 点)」「当てはまらない(1 点)」で実施しました。評価の概要と今後の課題を以下に示します。

カテゴリー		平成 28 年度評価の概要と今後の課題	評点
Ⅰ. 学校経営	目標の策定 学校評価の実施 学校の独自性 評価内容などの公表 教務会議の開催	教育目標に基づいた単年度目標を策定し、実施し評価の周知を行った。また学校評価についても、継続して取り組むことができた。学校の独自性として少人数教育を実践し、地域に貢献できる学生の育成に取り組んでいる。自己点検・自己評価の公表に関しては、ホームページに公開していきたいと考えている。第 3 者評価については、取り組めていないため今後の課題である。各会議を定期的かつ効率的に実施できていることも、高評価の一因につながっている。	2.8
Ⅱ. 教育課程 ・教育活動	教育目標の設定と分析 教育課程の評価 シラバスの妥当性 授業担当者の妥当性 時間割の妥当性 指導方法・内容の妥当性 未修了科目への対応 実習環境・指導体制の妥当性 修了認定の公平性・妥当性 実習における倫理的配慮 インシデントの把握分析 実習指導の役割分担と協働 学生による授業評価 学生指導上の人権への配慮	教育課程検討委員会において、継続的な検討を行っている項目である。わかりやすいシラバスの作成、学生の負担を考慮した時間割の作成、授業担当者の調整、学生による授業評価などに積極的に取り組んでいる。実習環境の調整、インシデントの分析も例年同様に実施でき、今年も卒業時の到達目標を達成することができた。教育内容の全体像がわかりやすく示せるようなマトリックスの作成は、現在検討中であり、次年度の国家試験の出題基準の見直しに対応できるよう教育課程全体の見直しが今後の課題である。	2.6
Ⅲ. 入学卒業 対策	入学応募者の確保 国家試験対策 中途退学の防止 就職率の向上	入学応募者の増加を目指し、各高等学校に出向き、積極的に学校案内を行っている。また、学校説明会や進路相談会には積極的に参加することができている。学校説明会は、参加者の利便性を考え、夏期休業中の土曜日に 2 回行っている。国家試験は 3 年連続で 100% 合格であり、1 年次より学生個々に応じた指導が効果的にできていると評価できる。中途退学者については、成績不良者への個別指導や、悩みに対する個人面談を行っているが十分な対策とはなっておらず、特に 1 年次に退学者が多い。より学生個々に応じた対応が求められる。さらに、看護師としての資質をもった入学者の確保に努めていく。	2.8

IV. 学生生活への支援	心身の健康管理 学生相談の実施 就職先での評価 自主活動等の支援	心身の健康管理・学生相談の実施・自主活動等の支援は継続できている。就職先での評価は、ほとんどが母体病院での就職にも関わらず、卒業生の評価の把握が不十分であった。卒業生の評価を把握し、問題点を明確にしたことや母体病院から望まれる看護師像がより明確に打ち出されたことにより、具体策を講じたことが評点の上昇に繋がった。学校での生活態度への取り組みや、感性を育み観察力が向上するような意図的な関わりを続けている。	2.7
V. 管理運営・財政	適正な予算執行事業の管理 個人情報の保護 危機管理体制 学生意見の反映	開校 26 年目であり、設備の老朽化がみられているが、計画的に設備整備が実施できた。今後も計画的な対応を行っていく。デマンド監視システムを活用し、電力の適正使用をはかることにより、経費の節減対策を行っている。危機管理体制としてマニュアルの見直しや防災訓練、災害用の備蓄点検が行えた。個人情報保護のガイドラインの周知についてもオリエンテーション等を通して実施できた。課題としては倫理委員会の設置がある。本校の規模で倫理委員会の設置は難しい。しかし、個人情報の保護や倫理的配慮が必要な問題が生じた場合は、速やかに教員会議で検討しており、これを継続していくことが必要である。	2.9
VI. 施設設備	校舎の維持 施設設備・教材の妥当性 厚生設備の整備	平成 28 年 4 月に開設 25 周年を迎えた。施設設備の老朽化があり、学校の実情に合わせた評価内容に見直したため、評価が上昇した。法定点検、校舎の学生・業者による定期的な清掃、校舎・校庭の点検と整備を継続して実施している。	2.7
VII. 教職員の育成	職場内研修の実施 研修への参加と成果の共有 臨床研修 調査研究活動 授業評価	専門性を高める学会や研修会、臨床研修に継続的に参加できているが、長期の臨床研修は、実施できていない。研究活動は一部の教員の参加ではあるが、継続して実施できている。課題となっていた授業評価は、学内演習の授業を通して全教員が参観し講評できたため、今後も継続していく。学生の抱えている課題を踏まえた職場内研修が実施できなかったため、今後計画して実施していく。	2.1
VIII. 広報	情報公開	ホームページのデザイン変更、内容改善ができたことや、継続してブログで主な年間行事や学校生活の様子を配信し、リアルタイムで紹介していることが評価の上昇に繋がった。ポスター、学校案内のパンフレット内容や写真も在籍している学生を採用し、新しいものを作成できている。	3.0
IX. 地域との連携	地域との関係性	地域との協力関係において、3 年連続オープンキャンパスに地域住民の方々の参加があったことや、継続して地元町会主催の行事に学生と教員が参加していることも評価の上昇に繋がった。地域からの要請があれば、駐車場の開放、備品の貸し出しをしている。地元高校の教育活動への要請時、積極的に協力している。	3.0